

13 高齢化集落での交通弱者対策

コミュニティバスなどによる交通弱者対策を実施します

交通弱者対策として、牛深地区下須島で予約制乗合タクシーの運行、新和地区で巡回バスの運行、五和地区通詞島で路線バスの延伸を実施しました。このうち牛深地区の予約制乗合タクシーは、利用者が少なかったため終了しました。このほかの地区からも状況とニーズをうかがっているところであり、必要に応じて各地区の実情に合った効果的な対策を実施していきます。



16 安心に暮らせる 高齢化社会の実現

見守り生活支援ネットワークを拡充します

社会福祉協議会と協働で、住民の共助による声かけや安否確認などの見守り支援活動を市全域に広めました。

介護予防のために、住民運営により地区の公民館などに毎週集まって体操などを実施する「通いの場」の登録団体を募集し、現在、31団体377人が活動しています。また、認知症サポーター養成講座への参加人数は年間2,000人を超えています。

今後は、介護予防を効果的に推進するため、事業の充実や新たな事業にも取り組んでいきます。

15 日本一の健康寿命都市の実現

健康寿命を日本一とする施策を総合的に検討実施します

健康寿命を伸ばす総合的な取り組みとして、生活習慣病の予防、健康的な生活習慣の定着、健康を支える社会環境の整備を重点的に取り組みました。健康づくりの手助け役となる健康づくり推進員を110人養成、健康ポイント事業には2,238人が参加するなど運動することへの習慣づけは効果が見られました。

一方で成人健診事業は、健康教室の開催や無料クーポン券の発行など、受診を促す取り組みを行いましたが、目標とする受診率の達成には至っていません。

今後も、健康診査や検診の受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。



17 障がい者の社会参加支援

身近な場所で気軽に集える場を増やします

障がい者を支援する施設は、本渡地域に集中しており、ほかの地域においても身近な場所で利用できる場を確保することが課題となっています。

その取り組みの一つとして、天草西地域でモデル事業を実施。この中で、地域に拠点を置くことで利用しやすくなるとの意見が聞かれました。

今後も気軽に集える場の確保に向けて、民間事業者などの協力を得ながら、検討を行っていきます。

10 熊本天草間90分構想の促進

国・県の事業の早期実現に向けて取り組みます

熊本天草幹線道路や第2天草瀬戸大橋(仮称)の整備促進の取り組みとして、国・県への要望活動を行った結果、平成27・28年度の整備事業にかかる予算が要望どおり確保されました。今後も早期実現のため、事業主体の国・県へ要望を行い、早期完成を求めています。御所浦架橋(第2架橋・御所浦島～横浦島)については、事業が長期化する見込みのため、平成27年度から地域振興策を実施しながら、早期建設に向けて取り組みを継続していきます。



【熊本・天草幹線道路】計画路線 約70km(供用区間 13.3km・整備区間 約15.5km・調査区間 約41.2km)

11 市内生活圏30分構想の推進

市内幹線道路の整備を促進し、市内生活圏域30分構想を推進します

国・県に要望を行い、国道266号立原地区ゆずり車線と歩道が整備されました。そのほかにも下田南バイパス、白木河内地区ゆずり車線など、幹線道路である国県道の整備に着手しています。今後もバイパス改良など有効な整備促進について、国・県に要望するとともに、幹線道路へのアクセスや利便性向上のため、市道改良などに積極的に取り組みます。

12 林業の裾野拡大

あらゆる森林資源を活用した特産品づくりで林業の裾野を広めます

天草産材を利用した新築・増改築に対し経費の一部を助成しており、これまでに新築74件、増改築24件の助成を行いました。天草産材の使用量は年々増加傾向にあります。今後さらに、森林の保全を図りながら、天草地域森林組合と連携し、特産品づくりに向け取り組みを進めます。

Ⅲ きめ細やかな生活支援

14 子ども医療費、保育料の負担軽減

中学3年生まで医療費無料化、保育料などの保護者負担を軽減します

平成26年10月から子ども医療費助成を中学3年生まで拡大しました。

保育料については、平成27年度から基準額を見直し、全体で10%程度の保護者負担分を軽減しました。

